

騒音下における駅ホーム上旅客案内放送の適正な音量レベル

遠藤広晴 鈴木浩明 伊積康彦 日尾泰典

駅ホーム上での案内放送は、列車の運行情報を案内する他、列車接近を旅客に伝え、安全上の注意を促すなどの重要な役割を持つ。しかし、ディーゼルカーが発着する駅のように、騒音変動の大きい環境においては、案内放送音量の最適値を一意に決定することは困難である。そこで、本調査では、騒音レベルに対する適正な案内放送音量を検討するための評価試験を行った。また、これまでに同様の調査がほとんど行われていないことから、案内放送の評価の際に用いる評価用語、評価尺度に関する検討も同時に行った。本調査より、騒音レベルに応じた音量調節を行うことで、案内放送の聴き取りやすさ、および音量の適正さを確保することができることを確認した。また、案

内放送音量の適正さを評価するための評価項目としては、音の大きさが「適正である」、「適正でない」を評価用語とした2段階尺度が有効であることを確認した。

(鉄道総研報告、2007年5月)

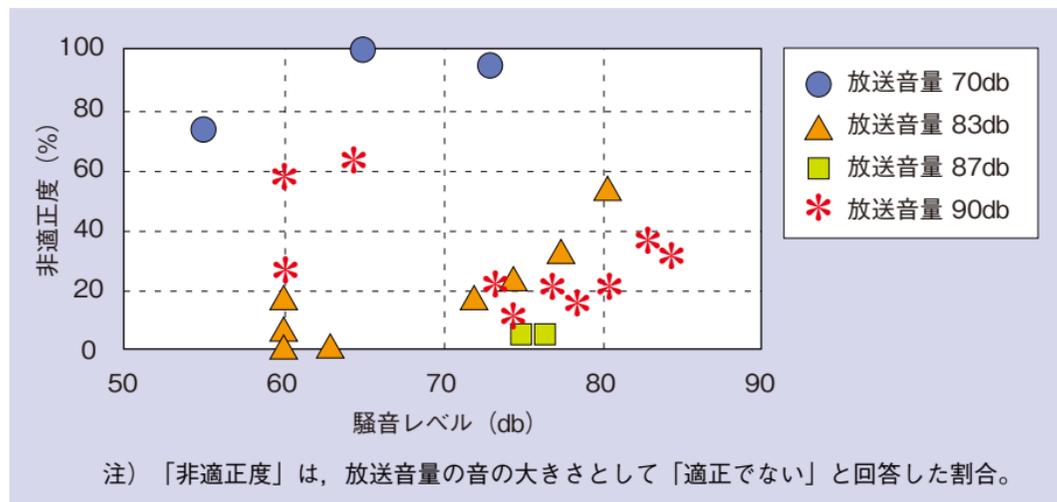


図 騒音レベル、放送音量と評価値の関係